

施策の方向性検討資料

資料6-2

分野	5年後・20年後に予想される状況	検討すべき項目		社会的要因	安芸太田ならではの要因	施策検討の方向性
		ワーキングから	アンケート結果から(途中経過)			
定住・人口対策 ～自然環境と人間環境の調和のとれたまち～	・町内で働く場所が少なくなり、就労のための転出により社会減が進む。 ・集客が見込めず店舗の撤退、衰退により住民の買物等の生活利便性が悪くなり、社会減が進む。 ・少子化により学校や保育所の維持が難しくなり、定住のための子育て環境の充実が必要になる。	・定住施策としての、仕事づくり、生活利便性、子育て支援の効果的な施策や政策間連携の検討 ・安芸太田町ならではのメリット(農業、自然環境、水)を活かした定住人口増加施策の検討 ・将来の人口維持のための「関係人口」増加施策の検討	住宅の新築・改修に対する支援	・Uターン者のみでなく全町民を対象とした支援策の検討	日本の人口減少 世界の人口増加 SDGs 田園回帰 関係人口	政令指定都市まで車で1時間 定住促進住宅割安で購入 空き家たくさんある 畑で新鮮野菜採れる インバウンド 田園風景(井仁の棚田)
子育て・教育・次世代育成 ～出産から成人までのライフステージをつなげるまち～	・都市部と比較すると、小中学生が学校以外で、学ぶ場所(塾、習い事等)等の教育環境が整っていないため、学習の機会を求めるニーズが高くなる。 ・学校の児童生徒数の減少により、多様な人間関係に触れる機会が減り、社会性が育ちにくい。 ・少子化より子どもの芸能活動が維持できなくなり、若者の伝統文化に対する興味が衰退し、地域の伝統文化の継承ができず途絶える。	・ICT等の活用により、どこでも学びたいこと学べる環境づくりの検討 ・子どもたちが、集まる場所や機会の創出(町内、広域)の検討 ・地域の伝統文化を継承する後継者育成活動支援の検討	・少子化対策、子育て支援対策の取組 ・安芸太田町の現状の取組み(少子化対策・子育て支援)を知ってもらう機会の創出	・既存の町内施設を有効活用し、スポーツ、文化活動等の町内外交流拠点とすることの検討	第5世代移动通信システム	待機児童無 中学校タブレット一人1台 学校木造校舎新しい 少人数で先生の目が届く 子ども神楽がある 加計高校全国公募 保育料等第2子以降無料 中学校英検受験料(年1回)無料
健康・医療・福祉 ～体と心がちょうどいい幸せを感じるまち～	・医師不足の為、医師一人あたりの負担増加 ・町内医療機関の縮小、閉鎖に伴い、町内で安定した医療を受けられなくなる。 ・在宅医療の仕組みが発展し医療機関の利用者が減る。 ・高齢化により要介護者が増加し、福祉施設運営を圧迫する。	・持続可能な町全体の医療体制の検討(安芸太田病院、診療所、開業医全体で) ・将来にわたって地域包括ケアを実践できる人材の育成 ・在宅介護の支援策の検討	高齢者支援の取組	・健康維持増進対策の検討	自殺予防とこころの健康づくり 健康寿命 第4次産業革命	安芸太田病院きれい あなたく公共交通整ってる 高校生まで医療費安い 森林セラピー(癒し、予防医療) 健康運動クラブ 健康のまち宣言
社会基盤・防災・防犯 ～みんなでささえあう安心なまち～	・財源不足(利用者の減少)等により町道、上下水道の維持管理が困難になる。 ・消防団員が減少し、地域防災力が低下する。 ・駐在所の減少と空き家の増加により、治安・住環境が悪化し地域住民の不安が増す。	・コンパクトシティ(住み替え)を実現し、必要最小限のインフラ整備の考え方の検討 ・消防団の効率的かつ効果的な体制整備と活動の検討 ・地域全体で取り組む防犯、防災体制整備と避難行動等の住民意識向上施策の検討	・上下水道の負担金や利用料金についての軽減策の検討	・循環型の浄化槽など新たな技術の導入を検討	地域共生社会 南海トラフ地震 減災	地震少ない みんな顔見知り 日本一の消防団がある 水道水直接飲める
生活利便・環境 ～ゆるやかにつながっているやさしいまち～	・空き家の増加と町営住宅等の老朽化が町のイメージダウンにつながる。 ・人口減少や高齢化に進行により、人手が入らない場所が増え、地域環境、自然環境が悪化することにより、有害鳥獣の被害がさらに増加する。 ・パソコンやスマホ端末を持っていない、使えない人も多く、ブロードバンド環境の効果的な活用が図られない。 ・利用者の減少によりバス路線等公共交通の縮小・廃止とスクールバスの広域再編が余儀なくされる。	・空き家対策(活用)の仕組みづくりの検討(さまざまな考えを持つ人を受け入れる意識の醸成等ソフト面も含む) ・持続可能な公共交通システムの検討(最新技術や様々な仕組みを取り入れ効率化を図る) ・ブロードバンドを活用した町内全世帯への情報インフラ整備の検討(例:全世帯タブレットを活用することによる住民サービスの向上策検討)	・道路・橋・河川護岸等の維持整備 ・計画的な土地利用による住環境の整備 ・有害鳥獣の取組	・空き地空き家等を有効利用し新たな定住環境を整備の検討 ・バッファゾーンを確保し、有害鳥獣被害防止と木竹の有効利用策を検討	地球温暖化 循環型社会 自動走行技術 SDGs 第5世代移动通信システム	三段峡憲章 食肉加工工場(ジビエ加工) 超軟水の水がある 最南端の豪雪地帯 夏夜涼しい
産業・雇用 ～やりたいことをカタチにしてつなぎあうまち～	・働く世代の働く場所が少なく町外への転出が増加し、町の税収が減少する。 ・農業従事者が減少し、遊休農地が増え、景観が悪化する。 ・町内に若者がわくわくするものがなく、情報発信力が弱い。 ・観光の衰退と併せて店舗、施設が減少し観光消費額が下がる。	・既存の農業事業者の効率的かつ継続可能な農業経営支援の検討 ・新たな農業事業者の掘り起しと定着策の検討 ・町外からの流入、町内の経済循環の促進に向けた「道の駅」等町内の観光拠点の強化。 ・町内の自然環境をフル活用したアクティビティ等の創出の検討(環境保全意識の醸成と外貨獲得のコンテンツとして活用方策検討) ・産業振興を目的とした「関係人口」の増加施策の検討。	・企業立地・雇用対策の取組み ・(Uターンで戻った)若者が働く場所の確保	・廃校や空き家等の既存施設を利用した企業誘致の検討 ・地域商社の活躍	ワーク・ライフ・バランス 第4次産業革命 第5世代移动通信システム 地球温暖化 起業家、継業化、移業化(サテライトオフィス)、多業化 スモールビジネスの拡大 ネット環境活用 コミュニティビジネス	地域商社あきおおた 森林セラピー 教育旅行 農業男子 地域おこし協力隊 三段峡(さんけん) インバウンド 道の駅整備計画 スキー場がある 高低差、寒暖差活かした農作物 祇園坊柿
コミュニティ ～あなたの力が必要です Hotな心が通いあうまち～	・行政コストの増加、町の細部にわたる行政サービスが行き届かない。 ・集落の過疎化・限界集落化、孤立化が進み、集落の自治活動の継続が困難になる。 ・産品の固定化や新しいジャンルの創出不足もあり、ふるさと納税が伸びず、税収の増額が見込めない。 ・住民と役場との意思疎通の低下	・一段階大きな枠で自治活動を行う仕組みを作る等の自治組織の再編の検討 ・町民の声が行政に届きやすい仕組みを作る。 ・庁舎内にふるさと納税担当チームを置く。	・町外者受入(地元住民)の意識の改革(地域のしきたりいや行事等について)	・住民との意見交換を密にし、地域での受入態勢整備を検討 ・地域への関係人口を増やし、広域化を検討	新しい組織とネットワーク 市町村間の広域連携	拠点整備 みんな知り合い JOCA